

## 千葉県福祉サービス第三者評価の評価結果 (保育所等)

1 評価機関

名 称	特定非営利活動法人 人材パワーアップセンター
所 在 地	千葉県松戸市稔台7-12-6 コートルビナス102
評価実施期間	令和7年7月4日～令和7年12月22日

## 2 受審事業者情報

## (1) 基本情報

名 称	柏市立名戸ヶ谷保育園		
(フリガナ)	カシワシリツナドガヤホイクエン		
所 在 地	〒277-0032 千葉県柏市名戸ヶ谷683-1		
交 通 手 段	JR柏駅から東武バス「名戸ヶ谷記念病院前」または「新柏」行きバス 名戸ヶ谷記念病院前下車 東武アーバンパークライン新柏駅「柏駅東口」行きバス 名戸ヶ谷記念病院前下車		
電 話	04-7164-8783	FAX	04-7162-0703
ホーメページ	<a href="https://www.city.kashiwa.lg.jp">https://www.city.kashiwa.lg.jp</a>		
経 営 法 人	柏市役所		
開設年月日	昭和54年4月		
併設しているサービス	あかちゃんほっとステーション設置, AED設置施設		

## (2) サービス内容

(3) 職員(スタッフ)体制

職 員	常勤職員	非常勤、その他	合 計	備 考
	21	22	43	巡回職員・委託職員含まず
専門職員数	保育士(幼稚園教諭含む)	看護師	栄養士	
	30	1	1(巡回)	
	保健師	調理師	その他専門職員	
	0	6(委託)	0	
	子育て支援員	事務補助員	業務員	
	9	1	2	
	保育補助員			
	0			

(4) サービス利用のための情報

利用申込方法	柏市役所保育運営課入園担当へ郵送で申し込み		
申請窓口開設時間	月曜日から金曜日 午前8時30分から午後5時15分まで (祝祭日、年末年始を除く)		
申請時注意事項	柏市役所保育運営課入園担当までお問い合わせください		
サービス決定までの時間	入園申し込みスケジュールの結果回答予定日参照		
入所相談	柏市役所保育運営課、または各保育園にお問い合わせください 園見学も隨時受け付けています		
利用代金	0歳児から2歳児：保護者が居住する市町村が定める利用料 3歳児から5歳児：無償化		
食事代金	3歳児から5歳児 6,000円/月 (主食費：600円、副食費：5,400円)		
苦情対応	窓口設置	有	
	第三者委員の設置	有	

### 3 事業者から利用（希望）者の皆様へ

サービス方針 (理念・基本方針)	<p>【柏市立保育園の保育目標】 生きる力を持つ子ども 【保育目標】 ・げんき・やるき・えがお ・豊かな自然とのかかわりの中で、健康で明るい子・意欲的に取り組める子・優しく思いやりのある子を育む 【保育方針】 ・自然との関わりの中で、四季の移り変わりや、身近な動植物に興味を持ち、豊かな感情を育みます。 ・よく食べ、よく眠り、よく遊び、心地よい生活リズムを身につけていく中で、意欲ややり遂げようとする力を育みます。 ・あるがままを受け入れて認めてもらうことで信頼関係が生まれ、やさしさや思いやりの心を育みます。これらを通して、友だちとの関わりの中で自分の気持ちを表現できるように導きます。 ・いろいろな人のふれあいの中で、お子さんは成長していきます。家庭や地域と共に小学校との連携を図りながら一人ひとりの育ちを見守り、子育ての喜びを共有していきます。</p>
特 徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然豊かな土地に建つ平屋の園舎です。広い園庭のある保育園です。</li> <li>・名戸ヶ谷小学校と隣接していて、園庭からすぐに校庭に行くことが出来ます。日頃から交流があり、校庭を散歩させてもらったり、卒園児がフェンス越しに声を掛けてくれることもあり、就学を身近に感じることが出来ます。</li> <li>・近隣には増尾城址総合公園やビオトープがあり、散歩や遠足に出かけています。4、5歳児は柏レイソルのグラウンドに招待してもらうこともあります。</li> <li>・異年齢児交流も盛んで、大きいクラスがしていることを、小さいクラスの子どもたちが見たり、自然と交流を持つ中で、憧れの気持ちを持ったり、優しく思いやりの気持ちも育ちます。</li> <li>・今年の夏は設置プールが無くなった代わりに、水遊びができるアクアランドがオープン。全身びしょぬれで思い切り夏を満喫できます。</li> <li>・職員同士仲が良く、子どもの話をたくさんし、職員全員で園児の成長を見守っています。名前もすぐ覚え、クラスの枠にこだわらず誰もが子どもたちに声を掛け、保護者にも安心して子育てに向き合ってもらえるよう日々努力しています。</li> <li>・園庭開放や育児講座、行事招待など地域の子育て家庭の支援も積極的に行ってています。一時預かり事業も行い、子育ての相談なども行っています。</li> <li>・第2駐車場が出来たことで、駐車場待ちが激減し、送迎の際の事故がほぼ無くなりました。保護者の協力もあり、不審者対策として日中は第一駐車場側の門の施錠を実施し、危機管理対応も進めています。</li> <li>・園庭の空にはきれいに月が見えます。雨上がりには虹かかり、子どもたちからも歓声が上がります。</li> </ul>

利用（希望）者  
へのPR

- ・平屋で開放的な園舎の保育園では、職員が子どもの主体性を尊重した丁寧な保育を行っていこうと話し合い、年齢や発達に応じた遊びや活動を通して、心身の発達を促す保育を進めています。職員もみな明るく話しやすい雰囲気で、子育ての相談などもしやすい雰囲気があります。
- ・広い園庭では、かえるやバッタ、トンボなど虫たちもたくさん遊びに来るので、自然と虫に触れ合いながら命の大切さにも気づくことが出来る園です。時には幼虫を飼育して、無事飛び立つときは、皆で元気でねと見送ることもあります。日当たりが良く園舎からすぐ園庭に出ることが出来、体操、かけっこ、虫探しなどのびのびと身体を動かして遊べます。自然豊かな場所にあるので、毎日発見とわくわくがいっぱいの保育園です。
- ・すぐ隣には名戸ヶ谷小学校があり、校庭と園庭がつながっているので、お散歩にもよく行かせてもらっています。ウサギ小屋をのぞいたり、田んぼへの散歩に向かいながら小学校も身近に感じています。4月には卒園生がフェンス越しにランドセルを見せてくれたり、卒園後の成長をいつまでも見守ることも出来るのもうれしい点です。
- ・名戸ヶ谷保育園のどんぐりの木の妖精「などっしー」が園児を見守ってくれます。異年齢児交流も活発で、子どもも大人も楽しい保育を進めています。
- ・幼児組は野菜を育て、5歳児はクッキングを行うなど食育にも取り組んでいます。給食は園で手作りしていて、だから取った美味しい給食を毎日食べることが出来ます。
- ・伝承を大事に、季節の行事にも力を入れています。楽しみながら日本の伝統に触れられるように、保育士が知恵を絞り企画運営しています。地域の子どもたちも招待し、交流を持っています。
- ・近隣にも魅力的な場所が多く、増尾城址総合公園やビオトープ、田んぼの農道などは季節ごとに散歩に出かけ、季節の移ろいを感じています。年に1～2回は幼児組はお弁当を持って遠足に出かけ楽しい思い出を作っています。
- ・夏には泥んこ遊びや水遊びを目一杯楽しめるように工夫されていて、今年アクアランドもオープンし、ますます季節を感じながら安全に楽しめる環境が整っています。
- ・保育の様子を可視化するようにしていく、行事や異年齢児交流など楽しんでいる様子を時折写真を交えての配信を行っています。園の様子は毎月の園だよりやクラスだよりもお伝えしていく、困ったことや分からないことはいつでも聞いていただけるようになっています。安心して子育て出来るよう配慮しています。
- ・園庭からはきれいな月や大きな虹が見えることがあります。子どもたちの笑顔と笑い声があふれている保育園です。

## 福祉サービス第三者評価総合コメント

<b>特に力を入れて取り組んでいること</b>
<b>1. 豊かな自然環境と広い園庭に恵まれてこどもたちは躍動しています。</b>
柏市の南部、近くには増尾城址公園やビオトープ、広い田んぼがあり自然豊かな保育園です。園舎は東南向きに立ち、広い園庭は名戸ヶ谷小の校庭と隣接するため、その開放感、日当たりは抜群です。広い園庭は子どもが日頃の運動を十分楽しめるほか、夏には泥んこ遊びや水遊びも楽しめます。また、トンボ、バッタなど昆虫も飛来するので自然との触合い、命の大切さも学んでいます。近隣の公園や田んぼには散歩に出かけ季節の移ろいを感じています。好天の訪問当日、園庭では、大勢のこどもが嬉々として走り回っている姿が印象的でした。
<b>2. 恵まれた自然環境に囲まれ、広々とした園庭の中に新しい遊びスペースが完成しました。</b>
老朽化したプールの撤去について、4月の懇談会で保護者に伝え、6月から本体の解体、水栓の増設、塗装、人工芝の設置工事が進められ、7月にはミストとスプラッシュマットを備えた「アクアランド」が完成しました。全面から水が降り注ぐ空間の中でこどもたちの人気の水遊び場へと変貌しました。暑さを和らげるだけでなく、それ以上に五感を刺激することで心と体の発達にも繋がります。こどもたちは目一杯楽しんでいます。夏以外は「ひだまりランド」として人工芝を敷き、小さいこどもたちがボール遊びなどで安全に体を動かすスペースになり、お話し会なども行っています。プール撤去後の利用形態については、園独自に意見を出して決めることができました。
<b>3. 職員の保育の質の向上を図るために研修を重ねています。</b>
園内保育研修年間計画を立て、全職員が学びたいこと、困っていることなどを確認し合い、今年度は全7回、テーマを「こども理解～こどもを見る視点を養う～」と決定しました。全職員を対象にティーチャーズトレーニング(基礎実践力)からスタートし、事例研究として4・5人の小グループで映像を見た上でのディスカッション(原因や対応、改善案を掘り下げて考える)を行い、実践を重ねることで職員相互に共通理解を深め(各種会議で共有)実践した後の変化や今後の課題を把握することができます。毎回各グループの1人が5分程度の絵本や手遊び、体操などの紹介を重ね保育の引き出しを増やしています。こどもをより理解し、判断力と応用力を鍛えることで、保育の質を高めることにつながっています。
<b>さらに取り組みが望まれるところ</b>
<b>1. 保育園の安全対策について。</b>
園は事故防止対策として、一昨年、正門の門扉を新しいものに取り替え、東門のドアは朝夕の送迎時以外は日中閉めた状態にして、出入りは正門のみにすることで、不審者対応を実施しています。業務員による駐車場の安全対策を毎朝・夕行い、職員による朝の見回りも日常的に行ってています。また、行方不明児対応訓練として室内・園外を検索リストに基づき、全職員でチェックしています。正門の門扉の施錠についてはまだ十分と言えぬ状況と思われ、想定外の事態が起こればねないと言えます。さらなる検討を期待します。室内にある本棚(1クラスが該当)について、絵本の表紙を見せる配架となっていますが、一部分を厚紙で蓋をするなど閉鎖したままになっていて、本来、こどもたちが自由に手に取り絵本に親しむには制限がかかっていると見受けられます。今後の改善の余地がある状況と考えられます。

### (評価を受けて、受審事業者の取組み)

当園の特徴である自然に恵まれた環境を活かし、思い切り体を動かす楽しさや命の尊さへの気付き、季節の移ろいを感じる感性を養いながら、園目標である「げんき・やるき・えがお」を育んでいくよう、今後とも職員一同学びを続けながら取り組んでいきたいと思います。また、新たなスペース「アクアランド(ひだまりランド)」も、工夫しながら活用していきます。

ご指摘いただいた防犯面に関しては、柏市保育運営課と相談しながら安全対策を講じていきたいと思います。また、本棚についても、子どもたちが安全に楽しく絵本と触れ合えるように、職員と一緒に改善に向けて考え、取り組んでいきたいと思います。

福祉サービス第三者評価項目（保育所等）の評価結果						
大項目	中項目	小項目	項目		標準項目	
			□実施数	□未実施数	□	□
I 福祉サービスの基本方針と組織運営	1 理念・基本方針	理念・基本方針の周知	1 理念や基本方針が明文化され、職員に周知・理解されている。	4	0	□
			2 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	3	0	□
	2 計画の策定	計画の適正な策定	3 事業計画が適切に策定され、計画達成のための重要課題が明確にされている。また、事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが話し合う仕組みがある。	7	0	□
			4 理念の実現や質の向上、職員の働き甲斐等に取り組み指導力を發揮している。	4	0	□
	4 人材の確保・養成	人事管理体制の整備	5 全職員が遵守すべき法令や倫理を明示し周知している。	3	0	□
			6 事業所の就業関係の改善課題について、職員（委託業者を含む）などの現場の意見を幹部職員が把握し改善している。また、福利厚生に積極的に取り組んでいる。	7	0	□
			7 人事方針を策定し、人事を計画的・組織的に行い、職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	5	0	□
		職員の質の向上への体制整備	8 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	4	0	□
			9 職員の教育・研修に関する基本方針が明示され、研修計画を立て人材育成に取り組んでいる。	5	0	□
II 適切な福祉サービスの実施	1 利用者本位の保育	利用者尊重の明示	10 全職員を対象とした権利擁護に関する研修を行い、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している。	3	0	□
			11 個人情報保護に関する規定を公表し徹底を図っている。	4	0	□
		利用者満足度の向上	12 利用者満足度の向上を意図した仕組みを整備し、取り組んでいる。	4	0	□
		利用者意見の表明	13 苦情又は意見を受け付ける仕組みがある。	4	0	□
	2 教育及び保育の質の確保	教育及び保育の質の向上への取り組み	14 教育及び保育内容について、自己評価を行い課題発見し改善に努め、教育及び保育の質の向上を図っている。	3	0	□
		提供する保育の標準化	15 提供する教育及び保育の標準的実施方法のマニュアル等を作成し、また日常の改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	4	0	□
	3 教育及び保育の開始・継続	教育及び保育の適切な開始	16 保育所等利用に関する問合せや見学に対応している。	2	0	□
			17 教育及び保育の開始に当たり、教育及び保育方針や内容を利用者に説明し、同意を得ている。	4	0	□
	4 子どもの発達支援	教育及び保育の計画及び評価	18 保育所等の理念や教育及び保育方針・目標に基づき全体的な計画が適切に編成されている。	4	0	□
			19 全体的な計画に基づき具体的な指導計画が適切に設定され、実践を振り返り改善に努めている。	5	0	□
		項目別実施サービスの質	20 こどもが主体的に活動できる環境が整備されている。	6	0	□
			21 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	5	0	□
			22 1・2歳児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	5	0	□
			23 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	5	0	□
			24 身近な自然や地域社会と関わるような取組みがなされている。	4	0	□
			25 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	6	0	□
			26 特別な配慮を必要とする子どもの教育及び保育が適切に行われている。	6	0	□
			27 保育時間の長いこどもに対して配慮がなされている。	4	0	□
			28 家庭との連携が十分図られている。	3	0	□
			29 地域社会との連携が十分図られている。	3	0	□
		子どもの健康支援	30 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応に努めている。	3	0	□
			31 子どもの健康状態、発育、発達状態を適切に把握し、健康増進に努めている。	3	0	□
			32 感染症、疾病等の対応は適切に行われている。	4	0	□
	5 安全管理	食育の推進	33 食育の推進に努めている。	5	0	□
		環境と衛生	34 環境及び衛生管理は適切に行われている。	3	0	□
		事故対策	35 事故発生時及び事故防止対策は適切に行われている。	4	0	□
	6 地域	災害対策	36 地震・津波・火災等非常災害発生時の対策は適切に行われている。	6	0	□
		地域子育て支援	37 地域ニーズを把握し、地域における子育て支援をしている。	5	0	□
計					159	0

## 項目別評価コメント

(利用者はこども・保護者と読み替えて下さい)

標準項目  整備や実行が記録等で確認できる。  確認できない。

評価項目		標準項目	
1 理念や基本方針が明文化され、職員に周知・理解されている。		<input checked="" type="checkbox"/> 理念・基本方針が法人・保育所等の内部文書や広告媒体(パンフレット、ホームページ等)に記載されている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針を事業所内の誰もが見やすい箇所に掲示し、職員配布文書に記載している。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針を会議や研修において定期的に取り上げ職員と話し合い共有化を図っている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針の実践を日常の会議等で話し合い実行面の反省をしている。	
(自己評価コメント)			
理念や基本方針は、「柏市立保育園重要事項説明書」や市のホームページに記載しています。また、パンフレットはありませんが、独自の「保育園ガイド」を作成し保育方針などを記載しています。それらは、玄関や事務室等誰もが見やすい場所や、職員がいつでも見られるようタブレット脇に掲示してあります。市の基本理念である「生きる力を持つ子ども」をもとに名戸ヶ谷固有の園目標を定めています。職員は、理念、基本方針を踏まえて年間指導計画や月案に落とし込み、また、職員会議、園内研修会等で実行面の反省を行っています。			
2 理念や基本方針が利用者等に周知されている。		<input checked="" type="checkbox"/> 契約時等に理念・方針が理解しやすい資料を作成し、分かりやすい説明をしている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針を保護者に実践面について説明し、話し合いをしている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針の実践面を広報誌や手紙、日常会話などで日常的に伝えている。	
(自己評価コメント)			
入園時には、保護者に対し、重要事項説明書を配布しますが、その中に理念、基本方針等を記載しています。更に、入園説明会の際にも口頭で丁寧に説明しています。園目標「げんき、やるき、えがお」は、玄関に、クラス固有の目標は、各クラスに掲示してあります。理念や基本方針をもとにした実践面は、保育懇談会や個別懇談会の際、あるいは、日々の登、降園時にもこどもら様子と共に伝えています。			
3 事業計画が適切に策定され、計画達成のための重要課題が明確にされている。 また、事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが話し合う仕組みがある。		<input checked="" type="checkbox"/> 中・長期事業計画を踏まえて策定された事業計画が作成されている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 事業計画が具体的に設定され実施状況の評価が行える配慮がなされている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 事業環境の分析及び現状の反省を踏まえ、理念・基本方針の具現化を図るための重要課題が明確にされている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 運営の透明性の確保に取り組んでいる。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 各計画の策定に当たっては、現場の状況を把握し、職員等の参画や意見の集約・反映のもとに策定されている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 方針や計画、課題は会議や研修会等にて定期的に説明し、全職員に周知されている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 年度終了時はもとより、年度途中にあっても、あらかじめ定められた時期、手順に基づいて事業計画の実施状況の把握、評価を行っている。	
(自己評価コメント)			
市で策定された事業計画があります。それらは、理念・基本方針の具現化を図るために、重要課題が明確にされています。それらをもとに、年間計画、月案、週案等を作成しています。それらを各種会議で確認し、自己評価をし、リーダー会議や若手職員の研修会も行い、振り返りを行っています。職員は、行事の様子の配信、クラスだよりでのお知らせ、日々の保育の様子を掲示板で知らせ、写真の活用などで保育の透明性の確保に取り組んでいます。園の希望等は、園長会議等で保育運営課も含めて協議をし、地域性や環境を踏まえた結果の醸成に努めています。			
4 理念の実現や質の向上、職員の働き甲斐等に取り組み指導力を発揮している。		<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針の実践面の確認等を行い、課題を把握し、改善のための具体的な方針を明示して指導力を発揮している。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 職員の意見を尊重し、自主的な創意・工夫が生まれやすい職場づくりをしている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 定期的な研修等により知識・技術の向上を図り、職員の意欲や自信を育てている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 職場の人間関係が良好か把握し、必要に応じて助言・教育を行っている。	
(自己評価コメント)			
園長は、理念等の実践面の確認を行い、課題の把握、改善につとめ、指導力を発揮しています。例えば年2回の自己評価、人事評価を行い、保育の進捗を確認し、職員の意見を吸い上げて、各種会議に反映させています。また、園長と職員との面談を通して保育以外のプライベートな問題についても意見を聞き、職場作りを行っています。定期的な研修(外部研修、オンライン研修)を通じて職員に対して助言をするなど意欲や自信を育てています。年1回のストレスチェックを実施し、職員全体の状態の把握に努め、一定の効果を挙げています。			
5 全職員が遵守すべき法令や倫理を明示し周知している。		<input checked="" type="checkbox"/> 遵守すべき法令や倫理を文書化し、職員に配布されている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 全職員を対象とした、法令遵守と倫理に関する研修を定期的に実施し、周知を図っている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> プライバシー保護の考え方について、職員に周知を図っている。	
(自己評価コメント)			
市の公務員としての法令倫理に関する教育(地方公務員法や文書事務)は、採用時に人事課による研修で行います。その後もセキュリティ研修やオンライン研修など定期的に実施しています。保育運営課では、新採保育士応援マニュアル、会計年度任用職員保育マニュアル、事務補助員マニュアル等を活用して周知を図っています。プライバシー保護(子どもの人権など)については、マニュアルに基づき年度当初の会議で周知を図り、自己評価や面談で確認を行っています。			

6	事業所の就業関係の改善課題について、職員（委託業者を含む）などの現場の意見を幹部職員が把握し改善している。また、福利厚生に積極的に取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/> ICT化の促進や保育補助者の活用等により、業務効率化を図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 記録業務、行事、会議等の簡素化などにより、業務改善を図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 担当者や担当部署等を設置し職員の有給休暇の消化率や時間外労働のデータを、定期的にチェックしている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 把握した問題点に対して、人材や人員体制に関する具体的な改善計画を立て実行している。
		<input checked="" type="checkbox"/> 職員が相談をしやすいような組織内の工夫をしている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生事業を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/> 育児休暇やリフレッシュ休暇等の取得、ワーク・ライフ・バランスに配慮した取り組みを行っている。

(自己評価コメント)

ICT化による業務促進は実施しています。その例として、PC、タブレットを導入して日誌や月案などの事務に留まらず、欠席確認、通知文の発信、保育の可視化、会議の報告書の作成、共有などが挙げられます。また、人事評価の面談や園長のおしゃべりサロンを実施するほか、職員が休暇をとりやすいうようにシフトを早めに提示するなど、職員が相談しやすくなるよう組織内の工夫をしています。育児休暇、リフレッシュ休暇など様々な福利厚生事業をすべての職員が利用できるよう、そのための「手引き」を用意して配慮をしています。

7	人事方針を策定し、人事を計画的・組織的に行い、職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	<input checked="" type="checkbox"/> 人材確保・定着・育成の方針と計画を立て実行している。
		<input checked="" type="checkbox"/> 職務の権限規定等を作成し、職員の役割と権限を明確にしている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 評価基準や評価方法を職員に明示し、評価の客観性や透明性の確保が図られている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 評価の結果について、職員に対して説明責任を果たしている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 評価が公平に出来るように工夫をしている。

(自己評価コメント)

人材の採用、定着、育成等の方針と計画は、市の人事課、保育運営課が策定しています。新採用者が園に配属された後は、市の仕組みである指導担当がそれぞれ新採用者について、トレーニングシートを作成して指導にあたっています。職員の役割と権限は、市で定めた職務分担表があり、それに基づいて明確になっています。職員評価の方法は、正規職員は人事課が設定した評価の方法を使い、会計年度職員については、面談を通して、いずれも公平に評価しています。評価結果については、職員から開示請求ができる仕組みになっています。

8	必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	<input checked="" type="checkbox"/> 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。
		<input checked="" type="checkbox"/> 福祉サービスの提供に関わる専門職（有資格の職員）の配置等、必要な福祉人材や人員体制について、具体的な計画がある。
		<input checked="" type="checkbox"/> 計画にもとづいた人材の確保や育成が実施されている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 法人（福祉施設・事業所）として、効果的な福祉人材確保（採用活動等）を実施している。

(自己評価コメント)

人材の確保と育成に関する方針、策定等は市の人事課、保育運営課が担当しています。その中で合同説明会を開くなどしています。また、園でも募集ポスターを掲示するなどして採用に繋がるよう努めています。更に実習生の受け入れも積極的に行ってています。その際、将来、柏市での勤務を希望するようアピールしています。園に採用後は、園内研修や職場が働きやすい環境になるよう、コミュニケーションを大切にして職員の定着化に努めています。そのほか、人事課による研修を2年目以降も複数回実施しています。

9	職員の教育・研修に関する基本方針が明示され、研修計画を立て人材育成に取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/> 中長期の人材育成計画がある。
		<input checked="" type="checkbox"/> 職種別、役割別に能力基準を明示している。
		<input checked="" type="checkbox"/> 研修計画を立て実施し、必要に応じて見直している。
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別育成計画・目標を明確にしている。
		<input checked="" type="checkbox"/> OJTの仕組みを明確にしている。

(自己評価コメント)

中長期の人材育成計画は、市の人事課、保育運営課が所管しています。そこでは、職員の階層毎に能力基準があり、それに即した研修を受講する仕組みになっており、実施しています。具体的には、各自が受講した研修を受講一覧に記し、それを踏まえて更にその後の研修を受講する仕組みになっています。人事評価の面談では、個々人の能力に合わせて課題を確認し、その資質向上に向けてフォローしています。また、階層別に研修や話し合いを実施し互いの成長に繋げています。

10	全職員を対象とした権利擁護に関する研修を行い、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している。	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの尊重や基本的人権への配慮について定期的に勉強会・研修を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/> 日常の援助では、個人の意思を尊重している。
		<input checked="" type="checkbox"/> 職員の言動、放任、虐待、無視などが行われることの無いように、職員が相互に振り返り組織的に対策を立て対応している。

(自己評価コメント)

定期的な勉強会という意味では、年度初めの会議で、園長が子どもの権利や人権を尊重した丁寧な保育を実施するよう説明し、全職員がそれを改めて確認をしています。職員の言動、放任、虐待等が行われないよう職員は相互に振り返りを行っています。例えば、年2回の自己評価やチェックシートを各人が実施して丁寧な保育の実践ができているか、クラス会議での毎月の保育を振り返り、園内研修での話し合いや確認などが挙げられます。その結果、不明確な部分は、柏市保育応援BOOK「エール」の活用やリーダー会議などで討議を経て全職員に周知しています。

11	個人情報保護に関する規定を公表し徹底を図っている。	<input checked="" type="checkbox"/> 個人情報の保護に関する方針をホームページ、パンフレットに掲載し、また事業所等内に掲示し実行している。
		<input checked="" type="checkbox"/> 個人情報の利用目的を明示している。
		<input checked="" type="checkbox"/> 利用者等の求めに応じて、サービス提供記録を開示することを明示している。
		<input checked="" type="checkbox"/> 職員（実習生、ボランティア含む）に対し、個人情報保護について研修等により周知徹底している。

(自己評価コメント)

個人情報の保護に関する方針は、重要事項説明書、市のホームページ等に掲載してあります。園内にも掲示しています。入園の際、重要事項説明書を保護者に示し、「個人情報保護方針及び個人情報に関する同意書」を確認の上、同意書をいただいている。保護者の求めに応じて開示請求には手順を踏んで対応いたします。実習生を含む職員に対しても、個人情報の扱いには厳正に対処するよう周知をしています。

12	利用者満足度の向上を意図した仕組みを整備し、取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者満足度を把握し改善する仕組みがある。
		<input checked="" type="checkbox"/> 把握した問題点の改善策を立て迅速に実行している。
		<input checked="" type="checkbox"/> 利用者・家族が要望・苦情を言いやすい体制を整備している。
		<input checked="" type="checkbox"/> 利用者等又はその家族との相談の場所及び相談対応日の記録がある。

(自己評価コメント)

苦情対応、相談窓口については、入園の際に掲示で知らせ、広く保育に関する意見のほか、子育ての悩みについて保護者が不安なく園を利用できるように対応しています。利用者・家族が要望・苦情を言いやすい体制の整備としては、年に2回の懇談会、1~2回の個別懇談会を実施し、子育ての悩みや保育への不安や疑問に対応しています。また、これらの催しについては記録を残し、その後の保育に活かしています。

13	苦情又は意見を受け付ける仕組みがある。	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者に交付する文書に、相談、苦情等対応窓口及び担当者が明記され説明し周知徹底を図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 相談、苦情等対応に関するマニュアル等がある。
		<input checked="" type="checkbox"/> 相談、苦情等対応に関する記録があり、問題点の改善を組織的に実行している。
		<input checked="" type="checkbox"/> 保護者に対して苦情解決内容を説明し納得を得ている。

(自己評価コメント)

相談、苦情等対応窓口は、重要事項説明書に記載してあるほか、入園の際に説明もしています。また、玄関には第三者委員の氏名も記載し掲示しています。各種の園行事の際、感想箋を配布して意見を聴取するようにし、懇談会でも要望を聴取しています。また、父母の会とも連携し、それらの要望に対してアンケートをとるなどし、永年の懸案であった駐車場増設や不審者対策としての施錠の問題などが改善をしています。

14	教育及び保育内容について、自己評価を行い課題発見し改善に努め、教育及び保育の質の向上を図っている。	<input checked="" type="checkbox"/> 教育及び保育の質について自己評価を定期的に行う体制を整備し実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/> 教育及び保育の質向上計画を立て実行し、PDCAサイクルを継続して実施し恒常的な取り組みとして機能している。
		<input checked="" type="checkbox"/> 自己評価や第三者評価の結果を公表している。

(自己評価コメント)

教育及び保育の質については、年2回の自己評価を実施しています。その結果、面接をしたりクラスごとに振り返りを行い、改善を心がけています。教育及び保育の質の向上計画を立て現状を把握し、PDCAサイクルを活用してクラスや個人単位で保育の質の向上を図っています。今年度、初めて第三者評価を受診しました。その結果は公表して保護者や地域に対しての社会的責任を果たします。

15	提供する教育及び保育の標準的実施方法のマニュアル等を作成し、また日常の改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	<input checked="" type="checkbox"/> 業務の基本や手順が明確になっている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 分からないときや新人育成など必要に応じてマニュアルを活用している。
		<input checked="" type="checkbox"/> マニュアル見直しを定期的に実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/> マニュアル作成は職員の参画のもとに行われている。

(自己評価コメント)

保育をはじめ、保育園の多岐にわたる業務についてそれに応じた各種マニュアルが作成され、業務の基本や手順が明確になっています。それらは、事務室と各クラスに保管し、いつでも見られる状態になっています。新規採用職員には、新採保育士応援マニュアルのほか、柏市保育応援BOOK「エール」を使用し具体的な場面に応じ活用しています。マニュアル、フローチャートは、実情にあわせ確認と見直しを定期的に実施しています。マニュアルの見直しと作成は、園内で協議のうえ、副園長会議で行っています。

16	保育所等利用に関する問合せや見学に 対応している。	<input checked="" type="checkbox"/> 問合せ及び見学に対応できることについて、パンフレット、ホームページ等に明記している。
		<input checked="" type="checkbox"/> 問合せ又は見学に対応し、利用者のニーズに応じた説明をしている。

(自己評価コメント)

問合せ及び見学に対応できることは、市のホームページに明記しています。園に対しての直接の問合せも多く、それにもその都度丁寧に対応しています。毎年秋には来年入園予定者に向けた園見学会を3回実施しています。そのほか、毎月1、2回、随時の希望者に対し園舎見学日を設定し、園舎の見学と参加者のニーズに応じた説明をしています。

17	教育及び保育の開始に当たり、教育及び保育方針や内容等を利用者に説明し、同意を得ている。	<input checked="" type="checkbox"/> 教育及び保育の開始にあたり、理念に基づく教育及び保育方針や内容及び基本的ルール等を説明している。
		<input checked="" type="checkbox"/> 説明や資料は保護者に分かりやすいように工夫している。
		<input checked="" type="checkbox"/> 説明内容について、保護者の同意を得るようにしている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 教育及び保育の内容に関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している。

(自己評価コメント)

教育及び保育方針や内容及び基本的なルール等について、毎年、入園説明会の際に、重要事項説明書と園生活のしおりをパワーポイントを利用して、保護者に分かりやすく説明をしています。そして、重要事項説明書については、各項目毎に、保護者から「確認した旨の同意書」を提出してもらいます。個人情報保護に関する内容については、園側だけでなく、保護者側にも順守してもらう事項があり、それについても同意書の提出を求めています。

18	保育所等の理念や教育及び保育方針・目標に基づき全般的な計画が適切に編成されている。	<input checked="" type="checkbox"/> 全般的な計画は児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨をとらえて作成している。
		<input checked="" type="checkbox"/> 全般的な計画は、教育及び保育の理念、方針、目標及び発達過程などが組み込まれて作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/> こどもの背景にある家庭や地域の実態を考慮して作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 施設長の責任の下に全職員が参画し、共通理解に立って、協力体制の下に作成されている。
		(自己評価コメント)

全般的な計画がありますが、それらは、柏市のこどもらの育ちを捉え、各種の法令、条約、保育指針等の趣旨をとらえて作成しています。それは、市の保育目標である「生きる力をもつ子ども」を育てるために、こどもや家庭の状況、地域の実態、保育時間などを考慮して作成しています。

全般的な計画は、園内で全職員で協議の上、園長会議で作成しています。

		<input checked="" type="checkbox"/> 全体的な計画に基づき、子どもの生活や発達を見通した長期的な指導計画と短期的な指導計画が作成されている。
19	全体的な計画に基づき具体的な指導計画が適切に設定され、実践を振り返り改善に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/> 乳児、1歳以上3歳未満児、障害児等特別配慮が必要なこどもに対しては、個別計画が作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 発達過程を見通して、生活の連続性、季節の変化を考慮し、子どもの実態に即した具体的なねらいや内容が位置づけられている。
		<input checked="" type="checkbox"/> ねらいを達成するための適切な環境が構成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 指導計画の実践を振り返り改善に努めている。

(自己評価コメント)

全体的な計画に基づいて、年齢ごとに年間指導計画を作成し、毎月については、子どもの育ちに応じて月案を作成しています。3歳未満については、一人ひとりの成育歴、心身の発達、活動の実態に合わせて個別の計画を立てています。また、特別な支援が必要なこどもの個別の支援計画は、保護者や関係機関と連携して作成しています。5歳児では、就学相談にかかるこどもは、教育委員会とも連携してスムーズな就学のため、訪問巡回を実施して情報交換を行っています。

		<input checked="" type="checkbox"/> こども一人ひとりを受容し、子どもの状態に応じた保育の内容や方法に配慮している。
20	こどもが主体的に活動できる環境が整備されている。	<input checked="" type="checkbox"/> こどもの発達段階に即した玩具や遊具などが用意されている。
		<input checked="" type="checkbox"/> こどもが自由に素材や用具などを自分で取り出して遊べるように工夫されている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 好きな遊びができる場所が用意されている。
		<input checked="" type="checkbox"/> こどもが自由に遊べる時間が確保されている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 教育及び保育者は、こどもが主体性を發揮できるような働きかけをしている。

(評価コメント)

こども一人ひとりの成長を見つめ、職員(担任・フリー保育士・加配保育士)の配置や物的環境(室内、園庭)を整えて保育を行っています。季節に合わせた活動や広い園庭でのびのび遊べるように、年齢に合わせた時間設定(例として幼児組のダイナミックな活動の際、小さいクラスが一緒になるのを避ける)などの工夫をしています。年齢や発達に合わせた玩具を用意し、自由に遊べる時間の確保と、こどもが自分で好きな遊びが選べるようままごとのコーナーやブロック、電車、お絵描き、粘土なども用意しています。様々な素材(自然物、廃材、野菜など)で自由に製作したり、遊ぶことができる環境を整え、こどものやってみたいという気持ちを尊重しています。また幼児組のサークルタイムやグループでの話し合いを通して意見を言い合える環境づくりを行っています。

		<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの状態に応じて食事や睡眠を十分に取ることのできる機会や環境が確保されている。
21	乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分に体を動かすことのできる機会や空間が確保され、子どもの個人差や興味、関心に沿った保育室の環境を整えている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 語りかけや歌いかけ、体の動きや表情、発声や囁語等への応答など愛情豊かで受容的・応答的な関わりをしている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に務めている。
		<input checked="" type="checkbox"/> こども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。

(評価コメント)

一人ひとりの生活リズムに合わせて、食事や睡眠がとれるようにパーテーションでの区切りや広々とした畳のスペースを設けるなど、こどもが安心・安全に過ごせるよう配慮しています。室内で坂道を登ったり、降りる動作を、ソフトマットなどを使って体を動かして遊ぶコーナーも随時設置しています。抱っこやスキンシップを図ることで、こどもに安心感を与え、また語りかけや囁語等への応答など温かい関わりを行っています。送迎時の保護者への言葉かけや連絡帳を通じて、保護者との信頼関係を深め、相談に応じたり、子育ての助言をするなどの支援を行っています。月2回クラス会議を設け、こどもの育ちを担任間で共有し、次月の指導案についても検討しています。

		<input checked="" type="checkbox"/> 基本的な生活習慣等について、こどもが自分でしようとする気持ちを尊重している。
22	1・2歳児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/> 友だちの気持ちや友だちとの関わり方を丁寧に伝えている。(こどもの気持ちを代弁して、お互いの気持ちに気づけるように関わり方を丁寧に伝えている。)
		<input checked="" type="checkbox"/> 周囲の環境や人・ものへの探索行動を存分にできるよう、安全に配慮しながら環境を整備し、様々な遊びを取り入れている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に務めている。
		<input checked="" type="checkbox"/> こども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。

(評価コメント)

基本的な生活習慣(着替え、食事、排泄など)や自分の持ち物がわかるようにロッカーや帽子ケースに個人シールを利用する等、さり気ない援助でこどものやる気を育てています。友だちとの関わり方について、保育士は常に共感を心がけてこどもの気持ちに寄り添い、お互い相手の気持ちに気づけるよう代弁してあげる体験を通じて言葉の獲得につなげています。こどもが安心・安全な環境で様々な遊び(ままごと・電車コーナーなど)ができるように工夫しています。送迎時の言葉かけや連絡帳でその日の様子を伝え合い、保護者との信頼関係を深めています。保護者からの相談に丁寧に応じ、子育ての助言も行っています。月1回クラス会議を設け、こどもの育ちを担任間で共有し、次月の指導案についても検討しています。

		<input checked="" type="checkbox"/> 基本的な生活習慣等について、自分でやり遂げたという満足感を味わわせるよう配慮している。
23	3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/> 他のこどもと多様な関わりがもてるように援助している。
		<input checked="" type="checkbox"/> こどもの興味や関心を引き出すことができるよう、こどもの能動性を引き出す自由な空間や物を配置している。
		<input checked="" type="checkbox"/> 送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に務めている。
		<input checked="" type="checkbox"/> こども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。

(評価コメント)

基本的な生活習慣について、自分でやり遂げたという成功体験を積み重ね、次の発達へとつなげています。保育士はこどもの気持ちを受け止め、共感しながら援助しています。行事に取り組む際や、日々の園生活の中で「自分でできた」という満足感や達成感を得られるよう様々な経験を重ね、また「なでっ子タイム」(月1回行う異年齢児交流)やサークルタイムを通して友だちとの関わりや触れ合いを重ね、社会性を育んでいます。送迎時や連絡帳などでその日の様子を伝え、保護者との信頼関係を深め相談に応じたり子育ての助言を行っています。月1回クラス会議を設け、こどもの育ちを担任間で共有し、次月の指導案についても検討しています。

24	身近な自然や地域社会と関わるような取組みがなされている。	<input checked="" type="checkbox"/> こどもが自然物や動植物に接する機会を作り、教育及び保育に活用している。
		<input checked="" type="checkbox"/> 散歩や行事などで地域の人達に接する機会をつくっている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 地域の公共機関を利用するなど、社会体験が得られる機会をつくっている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 季節や時期、こどもの興味を考慮して、生活に変化や潤いを与える工夫を日常教育及び保育の中に取り入れている。

(評価コメント)

園庭に住むカエルやバッタ・カナブンなどの生き物と触れ合う環境があり、こどもたちの興味・関心が深まっています。また、自然豊かなビオトープや増尾城址総合公園などに散歩に出かけ、実体験の中で自然を感じ、昆虫や草木などを見て楽しんでいます。世代間交流の一環として、亀甲台地区老人クラブの方々を七夕飾りや正月遊びなどの伝統行事に招待するなどして、季節の年中行事と一緒に楽しむ機会があります。隣接する名戸ヶ谷小学校の校庭で遊んだり、飼育されている小動物に触れ合うこともあります。

25	遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/> こども同士の関係をより良くするような適切な言葉かけをしている。
		<input checked="" type="checkbox"/> けんかや気持ちのぶつかり合いが発生した場合、危険のないように注意しながら、こども達同士で解決するように援助している。
		<input checked="" type="checkbox"/> 順番を守るなど、社会的ルールを身につけていくように配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/> こどもが役割を果たせるような取組みが行われている。
		<input checked="" type="checkbox"/> こどもが自発性を發揮し、友だちと協同して活動できるよう援助している。
		<input checked="" type="checkbox"/> 異年齢のこどもの交流が行われている。

(評価コメント)

けんかや気持ちのぶつかり合いがあった時は、けがにつながる場合以外はお互いの意見をよく聞き、全て止めるのではなく見守るようにし、自分の意見を言えたこどもたちをしっかりと認めて援助しています。日頃の活動の中で、年齢に応じたマナーマナーを伝え、身に付けられるよう配慮しています。幼児組はお当番活動(役割については工夫している)やグループ活動を通して役割を実行することで、役に立っている実感や感謝の気持ちを経験し、自己肯定感が育っています。毎日の体操やお手伝い、おやつ会食などを通じて異年齢交流が多くあり、また園外保育や運動会、ハロウィン、芋掘りなどの活動では年長児は自分の役割を意識し、年下のこどもをリードする様子が見られ、こどもたち同士の互いの心の成長につながっています。

26	特別な配慮を必要とするこどもの教育及び保育が適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/> こども同士の関わりに対して配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別の指導計画に基づき、きめ細かい配慮と対応を行い記録している。
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別の指導計画に基づき、保育所等全体で、定期的に話し合う機会を設けている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 障害児教育及び保育に携わる者は、障害児教育及び保育に関する研修を受けている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 保護者に適切な情報を伝えるための取組みを行っている。

(評価コメント)

こども同士の関わりが難しいとき(言葉のやり取りが難しい、手が出てしまうなど)は保育士が仲立ちしたり、こどもの思いを受け止めるなどして配慮しています。個別の指導計画を作成し、柏市子ども発達センターにアドバイスを受けたり、他の児童発達支援事業所とも連携を図り、保護者とともに成長を見守りながら、時に保護者の悩みに時間を作って話を聞くなどして取り組んでいます。特別な支援が必要な児の保育に関する園内研修(年5回)があり、こどもの関わり方などを学び実践に活かしています。5歳児については、就学相談の案内も行い、教育委員会とも連携してスムーズな就学に向けるなどの支援を行っています。

27	保育時間の長いこどもに対して配慮がなされている。	<input checked="" type="checkbox"/> 担当の職員が変わった場合には、引き継ぎが適切に行われ、必要に応じて保護者に説明されている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 担当職員の研修が行われている。
		<input checked="" type="checkbox"/> こどもが安心・安定して過ごせる適切な環境が整備されている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 年齢の異なるこどもが一緒に過ごすことに配慮している。

(評価コメント)

延長保育時間を利用する保護者への引き継ぎは、口頭や引き継ぎノートを使い丁寧に行っています。体調面の伝達や提出物については抜け落ちがないよう気をつけています。延長保育担当職員(子育て支援員)に対してはオンライン研修を実施し、スキルアップを図っています。長時間保育で疲れやすい時間帯(夕方6時以降)はこどもがゆったり過ごせるように配慮し、混合保育時は玩具の種類や安全面(パーテーションで仕切る、テーブルも活用する)にも配慮し、こどもの人数や配慮の必要なこどもの様子を考慮して、職員の配置を行なうなど安心・安定して過ごせる環境を整えています。

28	家庭との連携が十分図られている。	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、こどもの発達や育児などについて、個別面談、教育及び保育参観、参加、懇談会などの機会を定期的に設け、記録されている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 保護者からの相談に応じる体制を整え、相談内容が必要に応じて記録され上司に報告されている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 外国籍家庭や外国にルーツをもつ家庭、ひとり親家庭、貧困家庭等、特別な配慮を必要とする家庭について、保護者の意向や思いを理解できるよう努めるとともに、必要に応じて個別の支援を実施している。

(評価コメント)

連絡帳や、送迎時の保護者との伝達に、またその日のエピソードなどのやり取りを大切にコミュニケーションを取る時間にしています。1日の園での活動内容を毎日掲示し、配信アプリにて行事や保育の様子も伝えています。保育懇談会、保育参加・参観、個別懇談会を定期的に実施し、記録を行い、保育にも生かしています。保護者からの相談にもいつでも応じています。必要に応じて園長・副園長も対応しています。国籍や宗教・文化の違いに配慮しています。例えばインドネシアの家庭では豚肉(調味料も含む場合がある)除去により除去食の提供をするケースと持ち込み(お弁当やおやつ)をお願いするなどの対応をしています。他にスリランカ・ベトナムは日本語で、フィリピンは英語で対応しています。

		<input checked="" type="checkbox"/> 小・中学校などの生徒の体験学習や実習を受け入れたり、高齢者との交流を行ったりするなど、地域社会との交流を図っている。
29	地域社会との連携が十分図られている。	<input checked="" type="checkbox"/> 就学に向けて、保育所等のこどもと小学校の児童や職員同士の交流、情報共有や相互理解など小学校との積極的な連携を図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/> こどもの育ちを支えるため、保護者の了解のもと、認定こども園園児指導要録及び保育所児童保育要録などが保育所等から小学校へ送付している。
(評価コメント)		
小学校(2年生)の町探検の体験学習や高校生のインターンシップを受け入れています。また、近隣の老人クラブ(亀甲台地区)との世代間交流を年2回実施し4・5歳児を中心に七夕飾り作りや正月遊びと一緒に楽しんでいます。幼保こ小連絡協議会の会議(年3回)に参加し、「架け橋期カリキュラム」(5歳児から1年生の2年間の成長と学びの連続性、一貫性を考慮し、こどもの育ちについて記録する)について理解し、年間計画や月案の中でもスムーズな移行に向けての取り組みを実践しています。例えば、小学校の話をしたり、校庭に散歩に出かけたり、1年生との交流(秋の収穫物を使っての製作)などの機会があります。保育所児童保育要録については入園時(重要事項説明書に記載)や5歳児の懇談会で保護者に説明し、了解のもと小学校へ送付しています。		
30	家庭での虐待等権利侵害の疑いのあるこどもの早期発見・早期対応に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/> こどもの心身の状態を観察し、家庭での不適切な養育の兆候や、虐待の把握に努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭での不適切な養育の兆候や、虐待が疑われる場合には、所長に報告し継続観察を行い記録している。 <input checked="" type="checkbox"/> 虐待被害にあったこどもがいる場合には、関係機関と連携しながら対応する体制を整えている。
(評価コメント)		
登園時や保育中の着替えの際に視診を行い、不審な点がないか、清潔にしているかなどを確認しています。虐待の疑いがある場合は柏児童相談所・保健運営課などの関係機関と連携し、対応できる体制を整えています。要保護児童については、毎月定期的に柏市子ども相談センターへ情報提供しています。保護者の子育てについての悩みを担任が聞き取り、場合によっては園長も一緒に話を聞くことで、園で出来ることは対応するなど、保護者に配慮した支援を行い、記録も残しています。		
31	こどもの健康状態、発育、発達状態が適切に把握し、健康増進に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/> こどもの健康に関する保健計画を作成し、心身の健康状態や疾病等について把握・記録され、嘱託医等により定期的に健康診断を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者からの情報とともに、登所時及び教育・保育中を通じてこどもの健康状態を観察し、記録している。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員に乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する知識を周知し必要な取り組みを行い、保護者に対して必要な情報を提供している。
(評価コメント)		
柏市公立保育園共通の年間保健計画に基づき、嘱託医による内科健診(年2回)、歯科健診(年1回)を実施し、看護師による毎月の身体測定、視力検査・尿検査(4・5歳児)を行い、検査結果を健康カードに記録し、保護者の確認を得ています。保護者とコミュニケーションを取りながら、保育中のこどもの様子を観察し、日誌や連絡帳に記録し伝達しています。SIDS 対策については、全職員が園内研修を受け、タイマーを使い生活記録・睡眠チェック表に記録しています。うつ伏せ状態から仰向け寝に直すなどの安全確保にも努めています。保護者に対しては入園時にSIDSに関する情報提供をし、SIDS予防の啓蒙ポスターを掲示しています。また、入園時に母子手帳の確認やこどもの健康診断の提出をお願いし、体調の確認を行っています。		
32	感染症、疾病等の対応は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/> 感染症発生時における業務継続計画(BCP)が策定され、定期的な見直しを実施するとともに職員に周知されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 教育及び保育中に体調不良や傷害が発生した場合には、そのこどもの状態等に応じて、保護者に連絡するとともに、適宜、嘱託医やこどものかかりつけ医等と相談し、適切な処置を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 感染症やその他の疾病的発生予防に努め、その発生や疑いがある場合には、必要に応じて嘱託医、市町村、保健所等に連絡し、その指示に従うとともに、保護者や全職員に連絡し、協力を求めている。 <input checked="" type="checkbox"/> こどもの感染・疾病等の事態に備え、医務室等の環境を整え、救急用の薬品、材料等を常備し、適切な管理の下に全職員が対応できるようにしている。
(評価コメント)		
感染症発生時における対応マニュアルを作成し、事務室及び各クラスに掲示し、全職員が周知しています。こどもが体調不良になったり、けがなどがあった場合は保護者に連絡し、応急的な手当を行っています。看護師や園長、副園長の対応で心配な時は保護者と受診の必要性を確認後、医療機関へかかることもあります。感染症発生状況についてはクラスに掲示し、今後はアプリでのお知らせ配信も行う予定です。感染症が拡大した場合、柏市保健所に連絡し、指導を仰ぎようとしています。事務室内にベッドと医療棚を設け、医薬品や物品を常備し管理しています。全職員が嘔吐処理研修(年2回)を受け、速やかに対応できるよう、嘔吐処理セットを各クラスに用意しています。感染症が流行しないよう、職員やシルバー人材による消毒の徹底や十分な換気を行っています。		
33	食育の推進に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/> 食育の計画を作成し、教育及び保育の計画に位置付けるとともに、その評価及び改善に努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> こどもが自らの感覚や体験を通して、自然の恵みとしての食材や調理する人への感謝の気持ちが育つように、こどもと調理員との関わりなどに配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 体調不良、食物アレルギー、障害のあるこどもなど、一人一人のこどもの心身の状態等に応じ、嘱託医、かかりつけ医等の指示や協力の下に適切に対応している。 <input checked="" type="checkbox"/> 食物アレルギー児に対して誤食防止や障害のあるこどもの誤飲防止など細かい注意が行われている。 <input checked="" type="checkbox"/> 残さず食べることや、偏食を直そうと強制したりしないで、落ち着いて食事を楽しめるように工夫している。
(評価コメント)		
柏市年間食育計画表を基に、各年齢ごとの月案の中で食育計画を進め、自己評価やクラスでの振り返りを行い、次期の保育に活かしています。こどもたちは栄養士巡回(月2回)や調理員による配膳の際に交流があります。幼児組は野菜の栽培(3歳児はきゅうり・ピーマン、4歳児はなす・オクラ、5歳児は枝豆・スイカ・さつまいも・じゃがいも)で生長を観察し、食材への関心を深めています。5歳児は栄養調査(当番が給食ごとにメニューについて話す)やクッキングを行って、より食材への興味・関心を持てるよう工夫しています。アレルギー対応マニュアルに沿って、医師の指示書に基づき、除去食の提供を行っています。誤食防止に向けて事務連絡表(1日シフト表)を職員全員で確認し、事務室・担任・給食室と共有して確認後配膳を行います。食器を変えたり、テーブルの位置を固定するなど工夫して対応しています。保育士はこどもたちの食事の量や好みを把握し、楽しく食事をすることで、友だちからの刺激を受けやる気を伸ばし、食べることが楽しくなるよう声かけを行っています。		

34	環境及び衛生管理は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/> 施設の温度、湿度、換気、採光、音などの環境を常に適切な状態に保持するとともに、施設内外の設備及び用具等の衛生管理に努めている。
		<input checked="" type="checkbox"/> こども及び職員が、手洗い等により清潔を保つようにするとともに、施設内外の保健的環境の維持及び向上に努めている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 室内外の整理、整頓がされ、こどもが快適に過ごせる環境が整っている。

(評価コメント)

保育室内に温・湿度計、加湿器を備えエアコンを上手に使って温度、湿度を調整したり、換気を十分に行うことで適切な状態を保っています。看護師の巡回により1日2回 温度・湿度を記録しチェックしています。登降園時には保護者も手洗いを行い、園児は入室時や食事前、排泄後などに手洗いするなどの感染症対策を行っています。園舎内はピューラックスやアルファなどを用いての消毒を行い、おもちゃの消毒にも十分配慮しています。暑さ対策として園庭にテントを設けて遊んだり、ミストホースも設置しています。職員の中で担当する環境係(園内の保育環境を整える)は、計画的に回りの職員に声をかけ、各クラスの環境設定に必要な物品の購入や、業務員と連携して、砂場の掘り起こしや 草取りなどを定期的に行ってています。

35	事故発生時及び事故防止対策は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/> 事故発生時の対応マニュアルを整備し職員に徹底している。
		<input checked="" type="checkbox"/> 事故発生原因を分析し事故防止対策を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/> 設備や遊具等保育所等内外の安全点検に努め、安全対策のために職員の共通理解や体制づくりを図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 危険箇所の点検を実施するとともに、外部からの不審者等の対策が図られている。

(評価コメント)

「危機管理対策マニュアル」や 柏市のBCP「児童福祉施設等における業務改善計画」を基に、毎週1回 安全点検の実施や毎朝の見回り(早番担当が園舎内や 園庭、駐車場に不審物がないかなどを確認)を行い、万が一のための防犯カメラやパニックボタン、さすまたなどを準備しています。修繕箇所は園ですぐ直せるところは 处置し、必要に応じて 保育運営課 営繕班に依頼しています。水遊び 前には 全職員がAEDの研修を受けています。ヒヤリハットの事例や事故報告書(保護者対応についても振り返り、ケアも行う)についても 週案会議や 職員会議で情報共有し、再発防止に努めています。不審者対応や 行方不明児対応の訓練も実施しています。毎回振り返りを行い、改善すべき点を確認し、次回の訓練に活かしています。

36	地震・津波・火災等非常災害発生時の対策は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/> 災害発生時における業務継続計画(BCP)が策定され、定期的な見直しを実施するとともに職員に周知されている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 地震・津波・火災等非常災害発生に備えて、役割分担や対応等マニュアルを整備し周知している。
		<input checked="" type="checkbox"/> 定期的に避難訓練を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/> 避難訓練は消防署や近隣住民、家庭との連携のもとに実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/> 立地条件から災害の影響を把握し、建物・設備類の必要な対策を講じている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 利用者及び職員の安否確認方法が決められ、全職員に周知されている。

(評価コメント)

「危機管理対策マニュアル」「火災、地震、風水害対応フローチャート」を 事務室と各クラスに配置し、すぐ 活用できるようにしています。月1回 の避難訓練と、年2回 消防署と連携した消火・通報訓練、花火指導なども行っています。浸水 訓練については浸水想定区域に立地しているため、柏 4中への避難 想定した浸水 訓練を行っています。4・5歳児は実際に訓練として徒歩での避難を行います。年1回実施する引渡し訓練では、いざという時の引渡し方法や救援などについて理解を得ています。すぐメールや 連絡アプリを利用しての安否確認を行い、災害伝言ダイヤルNTT使用の際、クイズ形式にして親子で楽しみながら防災意識向上を図っています。職員はLoGo チャットでの安否確認を行います。防災倉庫や 備蓄倉庫に備蓄品も保管しています。防災週間では がれき体験や非常持ち出し品の掲示を行っています。

37	地域ニーズを把握し、地域における子育て支援をしている。	<input checked="" type="checkbox"/> 地域の子育てニーズを把握している。
		<input checked="" type="checkbox"/> 子育て家庭への保育所等機能を開設(施設及び設備の開放、体験保育等)し交流の場を提供し促進している。
		<input checked="" type="checkbox"/> 子育て等に関する相談・助言や援助を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/> 地域の子育て支援に関する情報を提供している。
		<input checked="" type="checkbox"/> こどもと地域の人々との交流を広げるための働きかけを行っている。

(評価コメント)

園庭 開放 (のぼり旗を掲示)や行事招待( 七夕会、クリスマス会、節分会、ひな祭り会など)、園見学 や 一時預かりなどをを行う中で、地域の親子と話す機会が多くあり、ニーズを把握したり、園児とも交流できる機会となっています。年2回 育児講座を開催し、1回はスクーマン(簡易訓練用マネキン)を使ってのAED訓練を行いました。保育園に来園する保護者に対しては、いつでも相談しやすい雰囲気を心がけ、必要に応じた情報提供もしています。